

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(北浜東小)学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

周りの人とのふれあいを通して、自己肯定感を高め、自己表現できる子に育てるとともに、他者の思いも大切にできる子に育てるために学校運営協議会としてできることを探る。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

・グランドデザインをもとに、学校目標等が校長より示され、学校の教育目標やめざす子供像について理解し、共有した。委員から積極的に質問や意見が出され、目標・課題となる点について熟議することができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

・第2回学校運営協議会では、授業の様子を参観し、今年度の目標でもある自己表現できる子という観点から、自分の考えを持ち、相手に伝えたいという思い、相手の意見を理解し、受け入れようとする姿勢について話し合った。
・継続してあったボランティア活動に加え、新たな活動についての提案があり、支持する意見とともに留意したい点についても委員から意見があり、意義深かった。
・子供同士や地域の方とのつながりを深めるため、地域ふれあい活動を実施することを確認した。熟議を通し、内容を充実するため、地域から講師他一般の参加者も募っていくことを決定した。
・学習支援ボランティア活動への協力依頼方法等について熟議することができた。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

・ボランティアの方の参加人数からみても、十分な発信が行えていたと思う。
・学校だより、CSだより、ブログ、さくら連絡網等で情報発信を行ったことで、ボランティアの確保につながった。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

・学校運営協議会の認知度を上げる。（他の保護者から学校運営協議会とは何かを聞かれることがあった）
・【チャレンジ精神を育む取組】自分に自信を持つ。自己肯定感を高める。
①「自己表現できる子が増えてきている」との報告があったので、来年度もさらにその力が身に付くような教育活動を支援していく。
②「地域ふれあい活動」を引き続き実施していくと共に、活動内容についても再検討していく。（特に高学年）
③将来に夢を抱けるような活動、体験、講話などを支援していく。